

## 平成 29 年度 和歌山県看護研究学会が終了しました。

平成 30 年 2 月 24 日（土）和歌山県民文化会館に於いて行い、301 名の方に参加していただきました。

午前中は、口演 5 題と示説 4 題の発表がありました。特別講演として 日本福祉大学 看護学部 学部長 山口桂子 先生に「病気や障害を持つ人の家族への看護」と題してご講演いただきました。先生の熱意あふれる講演となり、深い学びができました。

午後からはセミナー1として 加古川中央市民病院 地域連携室 看護師長・家族支援専門看護師 永富宏明 先生に「退院支援、家族の意思決定支援」と題して、意思決定支援のプロセスを丁寧にご講演いただきました。また、セミナー2として 近畿大学医学部 附属病院 副看護長・家族支援専門看護師 藤野崇 先生に「対応困難な家族への関わりについて」と題して、事例を通して家族への関わり方を具体的にご講演いただきました。聴講者にとって身近な内容であり、質問も多く、活発なセミナーとなりました。その後は、口演 10 題、示説 9 題の発表がありました。日頃の研究の成果を発表していただき、発表者・聴講者ともに大きな学びがあったのではないかと思います。

「日頃抱えている悩みや家族への支援について深く学べた」「他部署でどのようなことが行われているか知る機会となった」などのアンケート結果が得られ、今後の看護に活かせることと思います。

発表・特別講演・セミナー講演と、学会は盛大に終了することができました。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

来年度も和歌山県民文化会館で行う予定です。皆様の発表参加及び会場参加をお待ちしています。



《古川会長の開会挨拶で学会が始まる》



《山口先生の特別講演》



《永富先生のセミナー1》



《藤野先生のセミナー2》



《永富先生と藤野先生 質疑応答の様子》



《口演発表》



《示説発表》



《ピンクのジャンパーの協力員さん達が頑張って支えてくれました》